

平成30年度 第2回 看護・介護部会研修会レポート

記録者：介護老人保健施設しまた川苑 看護主任 森本章史

<日時> 平成30年10月26日（金）10時～15時

<場所> 山口県セミナーパーク 研修室103号

<講師> 藤本志織先生 滋賀病院附属介護老人保健施設 認知症看護認定看護師

<テーマ> 認知症ケア ～ 「人」を知ることから始めよう～

<内容>

10:05～11:30 講義

認知症ケア

先生の講演では、まず認知症介護の日常でよくある“あるあるエピソード”をユーモアなど交えて話をされ、次第に専門性の高い内容へとなっていました。

認知症とは脳と体の病気を原因として、記憶や判断などの障害がおこることにより日常生活に支障をきたすようになる病気としたうえで、先生は認知症を患った人の立場に立った視点で話をされるので、認知症の理解をより深める事ができました。

認知症の人の心理状況とは、たった一人で海外の空港に佇んでいるようなもので、ここはどこなのか自分はどうなってしまったのか、話かけてくる人を信用していいのか、とても不安と恐怖が強い状態であると言う事でした。

重要なのは、メガネ、補聴器、入れ歯を必ず使用し、感覚遮断を減らし、不安を軽減し安心感をもたらしたうえでコミュニケーションをとっていく事と先生は話されました。



12:20～15:00

グループワーク

まず始めのグループワークでは、自分の所属する施設の自慢を話し合いました。

ドライブのレクリエーションが充実している所や、園芸に力を入れている所、施設によっては、どじょうすくいや踊りをプロから教わり、利用者に披露するというユニークなものもありました。

続いてのグループワークでは「夜、なかなか寝てくれない」

利用者についての事例検討をおこないました。

この利用者さんはなぜ眠れないのか、またそれに対してどのように支援するのかを話し合い、最後に各グループで発表しました。

発表からは、用意された事例以上に深く考察し、対応策を考えているところがほとんどでした。

